

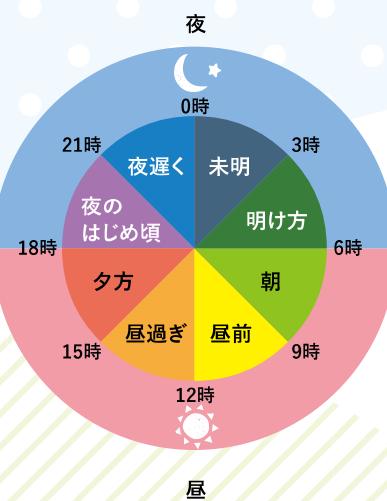


見方と対策

これらの言葉は季節に関係なく使われ、たとえば日の入りが遅い夏の時期も、15時～18時が「夕方」になります。また、「10ミリメートルのやや強い雨」といった表現もよくされます。これは1時間あたりの雨量を示す言葉で、下表のような降り方をします。1時間あたりの雨量が30ミリメートルを超えると、災害が起こる恐れのある注意報級、50ミリメートル以上は重大な災害が起こる恐れのある警報級の雨といえます。

ただし、弱い雨でも長く続いた場合は災害に繋がることもあります。大雨による災害のリスクが高まるこれから季節、気温や天気のマークだけでなく気象予報士の解説にもご注目ください。

時間を表す予報用語



皆さんには天気予報で使われる「未明」や「夕方」が何時を指すか知っていますか？ 実は、気象庁では一日の時間を表す用語を厳密に定めています。



宝塚市総合防災課
気象防災アドバイザー 野澤 武志

雨の強さと注意点

1時間雨量 (mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上
雨の様子					
人への影響 屋外の様子	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	<ul style="list-style-type: none"> ・傘をさしていてもぬれる ・車のワイパーを速くしても見づらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路が川のようになり、低地の道路は冠水することも ・山崩れや崖崩れの危険が高まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンホールから水が噴き出す恐れ ・地下に雨水が流れ込む恐れ ・車の運転は危険 	大規模災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要

気象防災
アドバイザーが
解説！

天気の水害

災害が起きる前に

大雨が迫ってきたら

一言で「大雨」といっても、降り方や降る場所によって起こり得る災害は異なります。急な傾斜地や渓流では土石流や崖崩れ、平地・低地では浸水や冠水、河川流域では川の増水や氾濫の危険度が高まります。災害に適切に対応するためには、日頃の備えが重要です。

1 防災マップを見てみよう！

総合防災課や各SC・SSなどで配布している「たからづか防災マップ」では、災害ごとの危険箇所や市内の避難場所を確認できます。居住地や通勤・通学経路で予想される災害を事前に調べ、自分や家族の避難について考えましょう。



▲たからづか
防災マップ

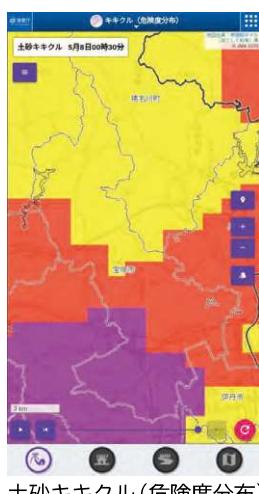
2 安心メールに登録しよう！

3 防災スピーカーの活用を！

「宝塚市安心メール（ひょうご防災ネット）」※は、気象情報や避難情報などをメールとアプリでいち早くお伝えし、緊急情報の見落としを防ぎます。

緊急時には「すみれ防災スピーカー」を通じて情報を伝えています。また、アプリ「コスマキヤスト（防災放送アプリ）」※や、問い合わせダイヤル（☎77・4001、77・4002）でも放送内容を確認できるので、緊急時に慌てないよう事前の登録をおすすめします。
※メール・アプリの登録は30面へ

災害の可能性がある雨が予想されたときは、現時点の情報を調べるだけではなく、今後の状況を注視することが大切です。気象庁が運用する「キキクル」は、実況値～3時間先までの予測値を用いて、どこに危険が迫っているかを知ることができます。自分のいる地域は浸水害と土砂災害のどちらに注意すべきか、避難場所へはどんな経路で向かうのが最適か、平時のうちに防災マップなどで把握しておき、適切な防災対策を行いましょう。



土砂キキクル(危険度分布)



Q 気象台では大雨警報を土砂災害と浸水害の2つに分け、特に警戒すべき事項が分かることのように発表しています。注意報については、気象庁ホームページから災害の種類を確認できます。

A 暗くなつてからの避難は危険です。警報級の雨の場合、道路が冠水したりマンホールの蓋が外れたりすることもあります。夜間は建物の上階の山側と反対側に移動する、垂直避難を推奨しています。ただし、避難が必要な豪雨の場合は事前に予報が出ている可能性が高いです。天気予報などで情報をキャッチしたあとは、雨が強まる前の明るい時間帯に安全な場所へ移動しましょう。

万が一に備えよう！防災チェック

✓ 防災バッグの準備

□食料（そのまま食べられるものや水。最低でも3日分）

□貴重品（現金、保険証、通帳など）

□日用品（タオル、着替え、充電器、常備薬など）

□衛生用品（マスク、消毒剤、体温計など）

その他、赤ちゃんや高齢者、ペットなど

家族構成に応じて必要なものを準備しましょう。



✓ 側溝・排水溝の掃除

側溝に詰まったゴミや土砂が冠水を引き起こすことがあります。梅雨前に掃除しておきましょう。



✓ 「マイ避難カード」の作成

防災マップを確認しながら、災害時の避難行動を整理してみよう！



名前	本人： 家族：	避難行動	
		いつ	
自宅の 浸水想定	・なし	どこに	(昼)
	・～		(夜)
土砂災害 警戒区域	・区域内	どのように	(昼)
	・区域外		(夜)
		何を持って	



※感染症対策における発熱者などを対象に開設していた専用避難所は、新型コロナの5類移行に伴い今後は感染状況などに応じて開設します。

宝塚市の災害対策

大雨による災害が全国で頻発し、平時からの防災の取り組みはますます重要になっています。万が一の災害から皆さんの安全を守るため、市が行っている災害対策を紹介します。

ぼ うさい出前講座・ 防災アドバイザーの派遣

自助・共助の防災力アップを目的に、地域や事業所、学校などに講師を派遣し、防災・減災に関する講義や防災訓練のサポートなどを行っています。



井 戸の整備

生活用水を確保するため、指定避難所になっている学校へ順次、井戸を整備しています。



被 災したときは

大雨などの被害に遭った人に被災証明書を発行しています。受付期間は、被害に遭った日から6ヶ月です。

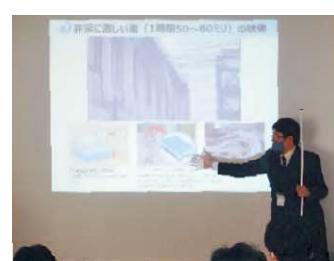


▲申請方法

気 象防災アドバイザーの登用

気象防災アドバイザーは、国土交通大臣から委嘱を受けた、防災の知識を兼ね備える気象の専門家。アドバイザーは全国で191人いますが（令和5年4月現在）、近畿地方で常勤しているのは宝塚市と神戸市の2市のみです。

特集で解説を務めた野澤さんは、平時は市職員や市民への講演会、災害予想時は宝塚市に特化した気象の見通しや河川の水位の解説などを行い、気象台の手が届きにくい地域の防災に貢献しています。



災 害協定の締結

災害時に迅速な人的・物的支援を受けられるよう、自治体間や民間企業、各種団体と災害協定の締結を進めています。

◊ Present ◊

市と連携協定を締結している大塚製薬(株)の協力で、災害時の備蓄にぴったりな「カロリーメイト」を抽選で3人にプレゼントします！応募は市LINE公式アカウントを友だち登録し、6月30日(金)までにメニュー画面から。



▲公式 LINE